

放課後等デイサービス事業所における自己評価(事業者向け)

令和3年度

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		限られたスペースではありますが、必要な広さを確保できるよう工夫し、子供が主体的に活動できるよう構造化しています。
	2	職員の配置数は適切である	○		療育の質や安全面も考慮し、定められた基準よりも多い職員を配置しています。専門性を高めるよう努力してまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関脇にはスロープがあり、室内にも段差はなく、バリアフリーになっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		全員での目標設定、支援の振り返りをしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年全員でアンケート結果について話し合い、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年、3月までにホームページで公開しています。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		各自可能な限りオンライン研修などに参加しています。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		全員で支援会議を行い、ニーズや課題を分析して支援計画を作成しています。
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		
	10	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		事前にみんなで相談したり、ミーティングで活動プログラムを決めています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		その日ごとのねらいを立てて支援しています。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		適宜組み合わせています。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に全体の活動計画と、個々の支援目標を打合せして、確認しています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後～次の支援の前までに、記録を基に振り返りを行っているが、必要な事項はその日の支援終了直後に行い、職員間で共有しています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ねらい、支援内容、結果、改善策などを記録しています。支援の改善に繋がるよう、努力していきます。
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		相談支援事業所とのモニタリングを定期的に行っています。
18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドラインに基づき支援を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		
	22	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	今年度予定していたものは、コロナのため実施できませんでした。
	23	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	学校や学童保育等での交流があるので、事業所では計画していませんが、地域の施設の利用などの機会は設けていきます。
	24	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		人吉球磨障がい者総合支援協議会に参加しています。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		お迎えに来られた際などに、ご家庭での様子を聞かせてもらっています。
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	研修を積み、取り組んでいきたいと思えます。
保護者への説明責任等	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	29	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度はリモートでの保護者会開催となりました。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情相談窓口を設置し、掲示しております。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		避難訓練や、保護者会をしたことについて、会報を発行いたしました。また、長期休業中は、活動の様子を写真などでお知らせしています。
	32	個人情報に十分注意している	○		
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行事に地域住民を招待するなどは、今のところ計画しておりません。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルは、事業所(玄関脇)に配備しています。重要事項説明書交付の際に内容をご確認いただいています。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		学校の冬休み期間中の活動の中で、避難訓練をしています。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止責任者が県の研修を受けて、適切に対応しています。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現段階では、身体拘束を行うことは想定していません。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		毎年年度初めに全児童に確認しています。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		